



北広島町 本田 清春さん (71歳)

## 稲と野菜の両方を補償

水稻78アールとハウス20アールで旬の野菜を栽培しています。収穫した野菜は産直市へ出荷し、売り上げの多くは野菜です。

昨年、稲は水稻共済へ加入していましたが、野菜は無保険の状態でした。そこへ新しく収入保険ができたと言われた職員が説明に来て、稲と野菜の両方を補償できる収入保険への加入を決めました。

農業は後継者が減少しているので、安定した収入と補償があれば、農業に携わる人も増えると思います。また、収穫間近の作物を動物に荒らされたり、自然災害で収穫できないこともあるので、そんな時に収入保険が役に立つと期待しています。

(広報紙「NOSAI広島」2019年 第22号より)